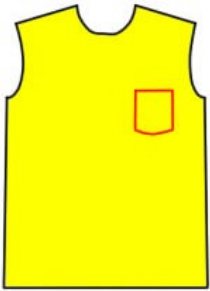
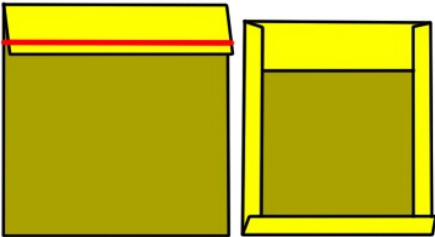


■ が裏 ■ 表

ニット地は生地自体に伸縮のあるものが多いので、糸も伸縮のあるものを利用すると良いと思います。  
エッフェルの伸びる糸や、レジロン糸などを利用してください。

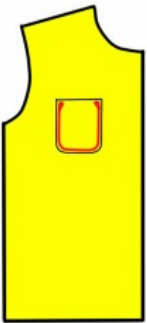


ポケットをつけてください。

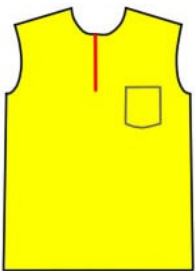


ポケット口の縫い代を裏に折りミシンで縫う。  
横と下の縫い代をアイロンで裏に折り目を付ける。

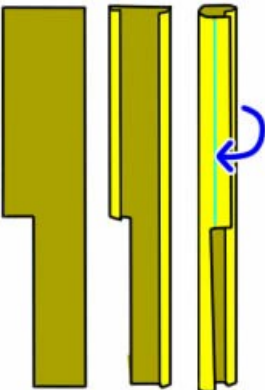
画像は四角ですが縫い方はほぼ同じです。



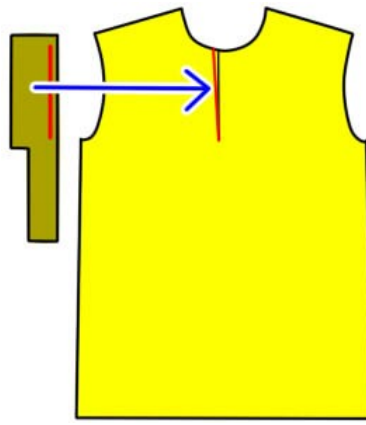
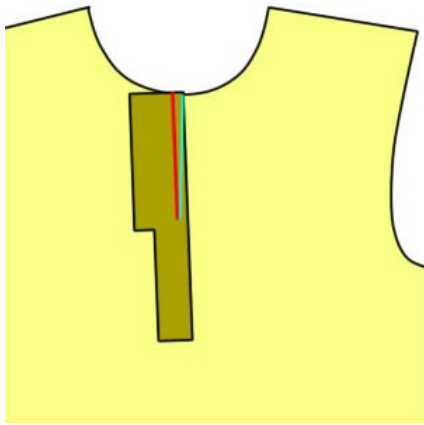
端から2~3mmの所を縫ってポケットを縫いつけてください。  
端から5mm位の所をしつけ糸で手縫いしてから縫うと縫いやすいですよ。



前開きの所に、消せるペンで線を引いてください。

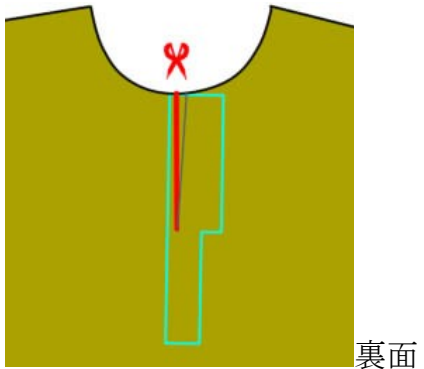


前中心の持ち出しのパーツをアイロンで折ってください。



身頃(胴体部分)の上に持ち出しを裏を上にして重ねてください。

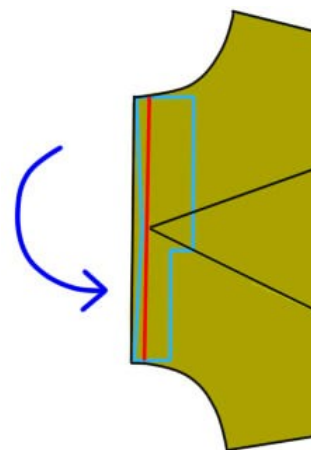
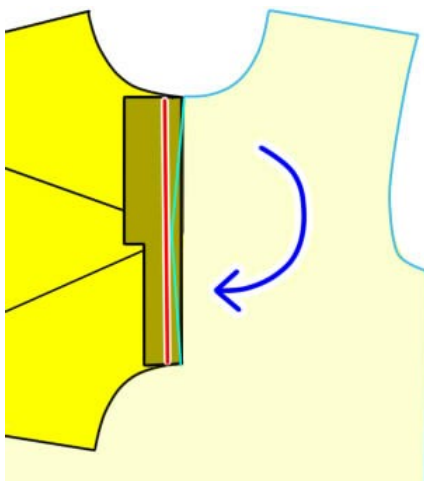
型紙の線どおりに真ん中まで縫ってください。



裏面

真ん中まで縫ったら縫った糸を切らないようにギリギリまで切り込みを入れてください。

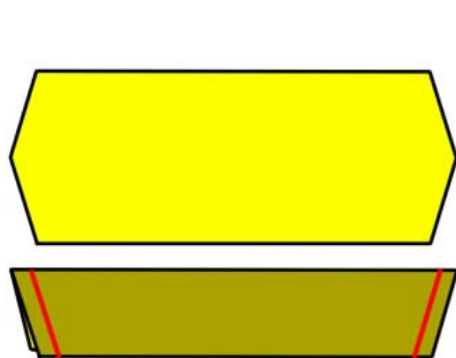
持ち出しは切らないようによけて切ってね。



←同じ所を裏から見た所

切った所がまっすぐになるように布を広げてください。

縫うときにギャザーやヒダが入らない様に、生地をよけながら縫ってください。



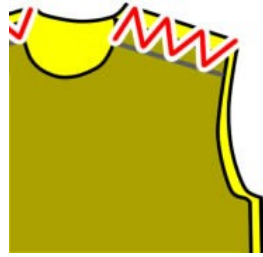
襟を半分に折って両脇を縫ってください。



表にひっくり返してください。

襟をつける側を端から5mmの所を縫ってください。

肩を縫ってください

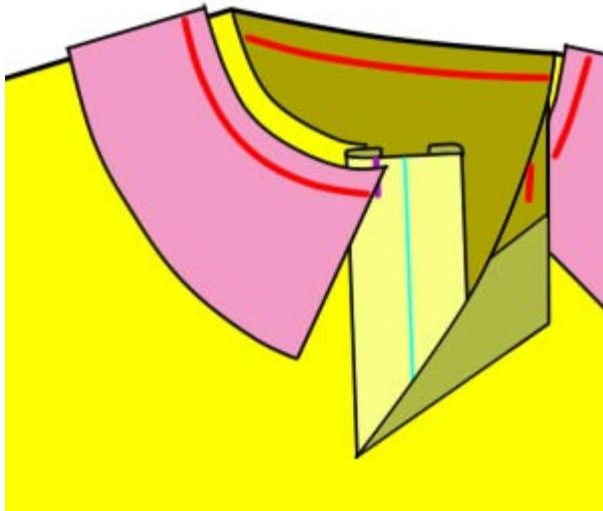


前後一緒にほつれ止めをしてください。



ニット地はこのような点線で描かれたジグザグ模様を選択して、ほつれ止めをしてください。

ニット地はこのような点



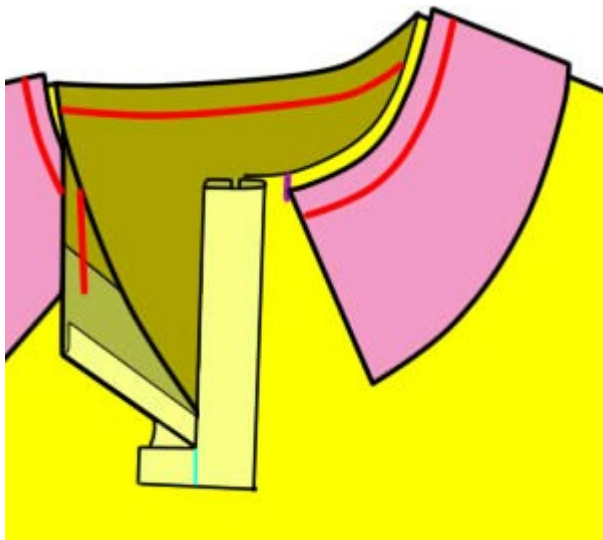
右えり



えりをつけて下さい。

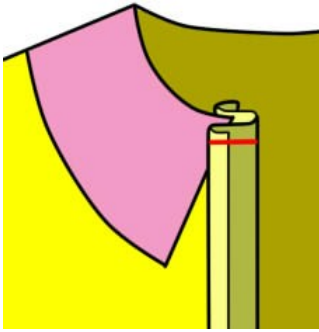
前中心は型紙のえりの印と同じ場所と合わせて下さい。

自分が着た時に右になるえりは端を持ち出しの真ん中に合わせて下さい。

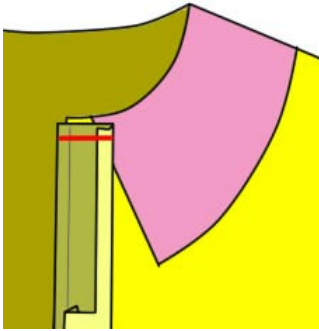


左えり

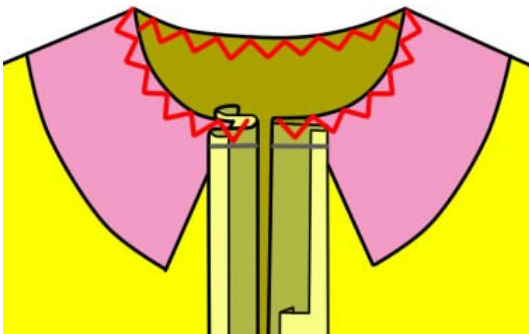
左は持ち出し横の前中心の印にえりの端を合わせてください。



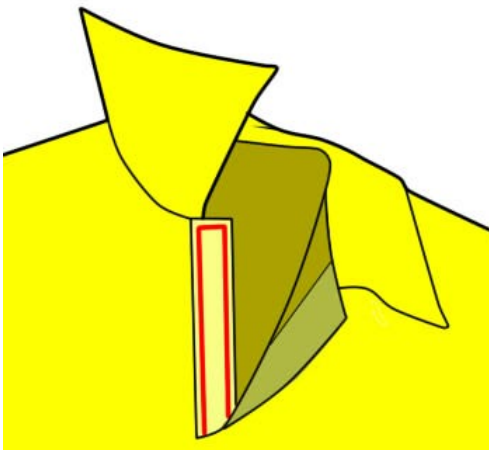
右側は持ち出しを裏が見えるように半分に折ってください。  
上の縫い代を縫ってください



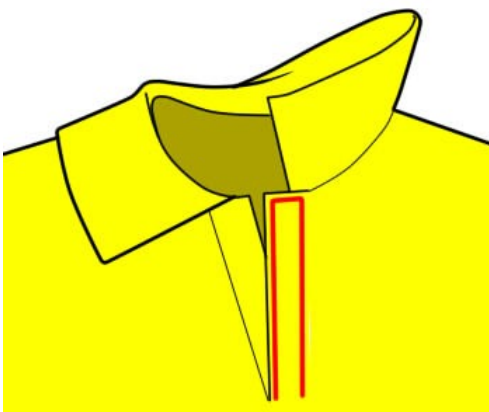
左側は縫い合わせた所から裏が見えるように折って下さい。  
上の縫い代を縫ってください。



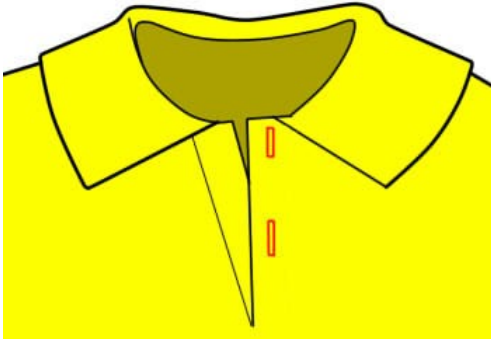
えりくびとえりを一緒にほつれどめしてください



持ち出しを表にひっくり返してください。  
右の持ち出しを端から2~5 mmの所を縫ってください。

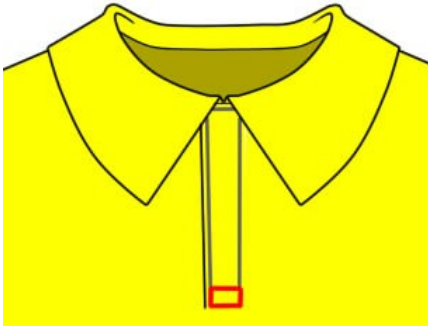


左も持ち出しをひっくり返してください  
左は下の右の持ち出しを縫いこまないように気をつけて、  
端から2~5 mmの所を縫ってください。

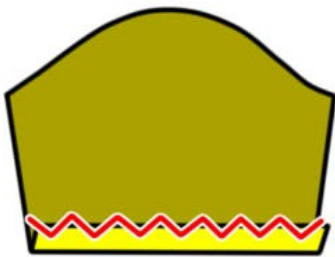


前あきをボタンあきにする場合はここでボタンホールをあける。

ボタンホールのあけ方はミシンによって異なるので、ミシンの説明書を参考にしてください。



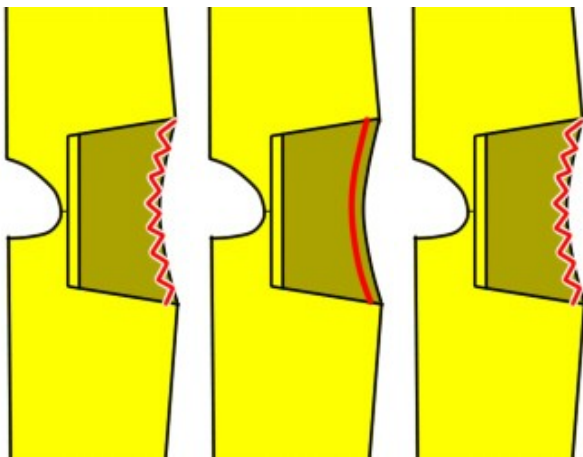
右の持ち出しと重ねて四角く縫って固定します。



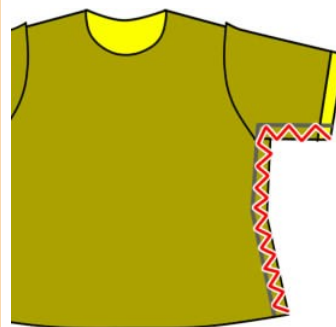
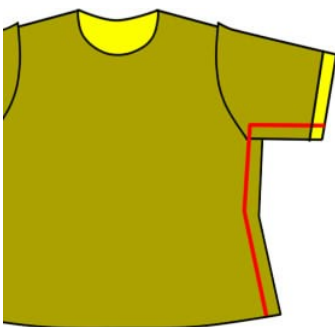
←三点ジグザグ

そでをアイロンで折ってください。

そで口の端が押え金の真ん中になるようにジグザグで縫ってください



そでを身頃と表同士が内側になるように重ねて縫ってください。



そでの縫い代をアイロンで身頃側へ折ってください。

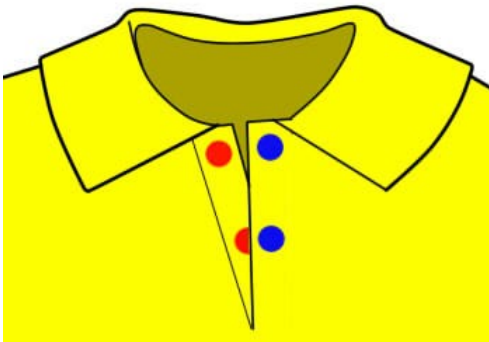
そでと脇を縫ってください。

ほつれ止めをしてください



すそをアイロンで折って縫ってください。

ここも3点ジグザグで縫うと糸が切れにくいです。  
ここもイラストは内側の絵ですが、表から縫ったほうが綺麗です。



スナップもしくはボタンを付けたら完成です

#### 必要な材料

表生地、接着芯、ボタンかスナップボタン、伸縮のある糸

#### おすすめの生地

ニット